

教育賞
受賞者紹介

学園 理事長・学園長 オ 雄 氏
光の村 ニシタニヒデオ 雄氏
学校法人 谷 英 生 来病

西谷英雄氏は、西あつた氏は、弱て育てられ、母にさされなうれ氏は、「ジゲた。」とがある。いたこやない」といふ確信となつる可能性を長のこととて、示す和23年、

年高知県に生まれた西谷の祖親の手で、学校で学んだが、若い母二つ年上の上級のシゲちゃんには名前が聞かれた。近所には名前が付く、釣りは本当にバカやろか？ ちゃんとできることは、なんでの答えは、氏の生き害児の成り立つた。西谷は生者が自立して行く姿

校内を障害続けた。木造に挑み耐の小学校に赴任し、木造した西谷氏は山村の子に金槌を持たせた。会うた釣の打ち込みをがて

晤する児童、徘徊のあちらこちらで修業校をまわる、ついでに勤先の小学校は転って夕食会う。したがって26年に中止された。この間、頭を出しに意書き見回までにできる学級を、特殊な子どもの表現活動、こゝに生きる彼らは、や版画たむきもあつた。

に飯学級」、日記や版画をひき出していくが、
「朝」見えてきたのは、ひたすらの業生
して彼らの賢いところを引き出す特徴が、
り、百谷氏は、障害児の強く感じるようにならし卒業生
うとする。木工室を設置するに回り

西校にも必要あると謂えた。長氏は、中学校等を終えては行門の校までも、中当氏は、丸金を捻出すと考へる。氏の努力は小・ノマニも、た。場所とし、金を、その卒業しても、この「株学総の肩購入の資機物かし、特殊な級の児童た。昭和32年には、中学特

が伴販売によく取扱を運営正常化を
紙箱された。しかし、民目指

習科は財團法「光の立するところ」となった。教育が婦立養護院に置く「光の村」は、昭和38年に高知市に創設された。氏は、この問題から併設された市立創設をめぐる問題を抱き、昭和41年に上昇する。この問題は、障害児・者の自立をめざして行く。として大きく展開して行く。種工場、各活動は土佐市を中心とした。この知能

ペスタロッチャーは、教育の重要性を唱え、是れに示した。知的障害の発生率は、このペスタロッチャーの姿で、第18回ペスタロッタに顕彰したい。